

関市の環境トピックス-1

～ジョギングしながらごみ拾い！

《プロギング》で街をきれいに！！～

「プロギング」はジョギングとごみ拾いを掛け合わせたスウェーデン発祥の新鮮な感覚「スポーツ」で、スウェーデン語の「プロッカウプ（拾う）」と英語の「ジョギング（走る）」を掛け合わせた造語です。



このプロギングでは、ジョギング中にごみを拾うためのしゃがむ動作が加わることで、消費カロリーが増え普段使わない筋肉をトレーニングでき、また集めたごみの量やきれいになった街をみることで満足感や達成感も得ることができます。この満足感や達成感を共有することで、参加者同士のコミュニケーションが深まり、さらには「ごみのポイ捨て」という身近な環境問題に“楽しみ

プロギングの様子（市役所） ながら”貢献できるなどたくさんの効果があり、日本だけでなく世界中で広がりを見せています。

関市には各地区で推薦された「清潔なまちづくり推進委員」の方が月に1回、ごみ拾いや地域のポイ捨ての状況や不法投棄の情報を報告してくれています。また、「ごみゼロ」にちなんだ5月30日前後には市民行動日として、市内の各自治会でごみ拾いを行っていただいています。このような活動を今まで環境問題に関心のなかった方やなかなか取組ができなかった方へ広めたいと考え、市内の事業者や高校生と一緒にこのプロギングに挑戦しました。市役所を中心に5kmほどジョギングし、空き缶やペットボトルなど約4kgのごみを集めました。参加者からは「普通にごみ拾いをするより楽し



プロギングの様子（市街地） くできた」と感想がありました。今後、プロギングの実施について効果や安全性などを検証するとともに、多くの市民へ環境問題の啓発になればと考えます。

関市の環境トピックス-2

～環境フェアせき2023を開催～



令和5年10月15日(日)、「環境フェアせき2023」を関市文化会館にて開催しました。環境保全活動を行っている市民団体や企業、学校など42団体が出展し、各団体のブースでは活動紹介や体験、販売などで来場者との交流を深めました。

今回も昨年に引き続き「ゼロカーボンってなに? みんなで学ぼう! はじめよう!」をテーマに、来場者の皆さんにゼロカーボンに関する知識を深めてもらうとともに、体験などを通して親子で楽しみながら環境について考えることのできるイベントを開催しました。

親子講座「気象キャスターと一緒に考えよう! 親子で学ぶ地球温暖化」では、テレビで活躍する気象キャスターの方が未来の天気予報や雲を作る実験など子どもたちにも身近な天気の話を変えながら講演し、親子で地球温暖化について楽しく学びました。



気象キャスターによる親子講座

また、小・中・高校生による環境に関する取組展示やブース出展、環境ポスター展示などのほか、中・高・大学生約30名がボランティアとして参加するなど、学生の環境フェアへの関わりを深めることができました。



関有知高校によるひまわりエコバッグ作り

参加者アンケートでは「環境について家族みんなで考えようと思いました」「大切にしなければいけないことが分かったし、せんめん所の電気を節電しようと思いました」などの声があり、今後の行動変容につながるイベントになったのではないかと思います。

関市の環境トピックス-3

～環境セミナーの開催～



自然を楽しむネイチャーゲーム

市民の環境への関心を高め、環境美化や環境保全を意識した行動に結びつけることを目的として、環境セミナーを行いました。親子や事業所を対象に自然、廃棄物、脱炭素などさまざまなテーマで開催しました。

自然関連では「せき・ホテルの楽校」「自然を楽しむネイチャーゲーム」「図書館周辺

観察会&押し葉しおりづくり」を開催。毎年

開催している「関川生き物調査」は雨天のため中止となりましたが、親子で一緒に身近な自然を楽しむ機会を創出し、自然環境保全の意識向上を図りました。

廃棄物関連では、毎年大人向けに開催しているダンボールコンポスト講習会を初めて親子向けに開催したほか、近年深刻化している海洋プラスチックごみをテーマとした「～川を大切に



水の工作マッピング & 海洋プラスチックと川の話

して海を守ろう～水の工作マッピング&海洋プラスチックと川の話」を開催し、ごみの減量



廃材を使った工作イベント

や環境美化について体験を通して大切さを学ぶことができました。また、市内事業所から出た廃材を使ってクリスマスツリーを製作する工作イベントを「関の工場参観日」の一環として開催し、廃棄物を再利用するアップサイクルについて楽しみながら理解を深めました。

脱炭素関連では、事業所を対象とした「～基礎から学べる～脱炭素経営セミナー」を関信用金庫・関商工会議所との共催により開催しました。中部地方環境事務所の担当者による脱炭素社会に向けた国の動向や支援制度などの説明のほか、CO2の可視化・削減の支援サービスに関する紹介があり、企業としての脱炭素化への考え方や取り組み方の情報収集の場となりました。